

系 統	2液型エポキシ樹脂系注入接着剤															
特 長	1) コンクリート、鋼板に対する接着性に優れる。 2) 粘度が比較的 low、注入作業性に優れる。															
用 途	1) 鋼板接着注入用（首都高速道路株式会社規格適合材料） 2) 鋼板接着注入用（名古屋高速道路公社認定材料）															
配 合 比	主 剤：硬化剤 = 3：1（重量比）															
荷 姿	10kg セット（主剤/7.50kg、硬化剤/2.50kg）															
外 観 性 状	主 剤…無色透明液状 硬化剤…淡黄色透明液状 混合物…淡黄色透明液状															
可使時間の目安	<table border="1"> <thead> <tr> <th>タ イ プ</th> <th colspan="2">冬用 (W)</th> <th colspan="2">夏用 (S)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温 度 [°C]</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>可使時間 [分]</td> <td>150</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>	タ イ プ	冬用 (W)		夏用 (S)		温 度 [°C]	5	15	20	30	可使時間 [分]	150	60	60	30
タ イ プ	冬用 (W)		夏用 (S)													
温 度 [°C]	5	15	20	30												
可使時間 [分]	150	60	60	30												
比 重	1.10～1.90（硬化物）															
貯蔵保証期間	12か月（未使用、冷暗所保存）															
消防法による区分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類															
毒物及び劇物取 締 法	主 剤 該当しない 硬化剤 該当する															
使 用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) 電動ポンプまたは足踏みポンプ等で、混合物を注入する。															
使用上の注意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。（レイタンス、汚れ、水分の除去） 2) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 3) 可使時間内に作業を終了する。 4) シンナーや水を混入して使用しない。															

⚠ 注 意

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。 2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 4. 詳細については安全データシート（SDS）を参照してください。 |
|--|